

中運交企第191号
令和6年3月21日

東海市地域公共交通会議
会長 星川 功 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和4・5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL: 052-952-8006

自治体・協議会名	東海市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・昨年度より実施していた高齢者スマートフォン活用支援講習を繰り返し実施し、多くの方へバスロケーションシステムの周知等を行ったことを評価します。
- ・市循環バスにICカード決済を導入し、利便性を向上させたことを評価します。

期待する取組

- ・中ルート、南ルートともに利用者数が回復傾向にあり、今後のルート再編で隣接市町村との乗り入れを行うことで、新規利用者の創出につながることを期待します。
- ・引き続き、バスロケーションシステムや令和5年4月より導入したICカード決済など、利便性向上に関する周知やPR等が行われることを期待します。
- ・地域公共交通計画に位置づけたバス停の待合環境等の整備や公共交通のわかりやすい情報提供を行うことで、地域間幹線系統と共に利用の増加につながることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月10日

協議会名: 東海市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改善補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
知多乗合株式会社	・東海市循環バス中ルート③ 太田川駅前を起終点とする 23.9km ・東海市循環バス中ルート④ 太田川駅前を起終点とする 23.7km ・東海市循環バス南ルート⑤ 加木屋車庫前を起終点とする 24.2km ・東海市循環バス南ルート⑥ 加木屋デイサービスセンターを起終点とする 23.6km (中ルート③、④については車両減価償却費等国庫補助金を活用)	・近隣市との協働、他部署との連携した施策の実施を引き続き行うことにより、利用促進を継続した ・利用者の利便性を向上させるため、現金決済・二次元バーコード決済に加えて、ICカード決済を導入した ・ダイヤ改正や新たな公共交通システムの導入に向けた事前説明を公共交通事業者に対して個別に実施した ・次期ルート・ダイヤ改正に向けて、各種アンケート結果の分析から得られた地域の意見を公共交通計画へ反映し、公共交通計画に基づくルート・ダイヤ案を作成・検討した	A ・近隣市との協働、他部署との連携を継続して実施している ・ICカード決済導入後、現金等の決済方法からの移行が利用者数・決済金額共に増加した ・ダイヤ・ルート改正時に、近隣市への乗り入れや、新たなバス停の設置に伴うルートの検討等、利用者・未利用者の移動ニーズに応えられるよう、公共交通計画に則った編成を検討し、進めている	B 【中ルート】 循環バスの利用者数(会計年度) 目標: 14万2千人 実績: 10万4千人 【南ルート】 循環バスの利用者数(会計年度) 目標: 14万人 実績: 9万3千人 コロナ禍における外出自粛等による影響を受け、交通手段の変化や公共交通機関を避ける動きから利用者が減少していたが、現在は、高齢者の外出促進のためのバスロケーションシステムの活用等を行った結果、外出促進につながり回復傾向にあると思われる。	・近隣市との協働の中で、今後は相互間の乗り入れ等も含めた利用者の外出促進を検討する ・アンケート結果の分析に基づいた地域特性や利用者意見等を、令和6年10月に改正を予定しているルート・ダイヤへ反映する ・令和6年度に養父森岡線(幹線道路)が開通した際には、東海市地域公共交通計画に沿った近隣市(大府市)への乗り入れについて検討する ・既存の公共交通を補完するための新たな移動システムとしてチョイソコの実証実験を行い、既存の公共交通と共存する日常生活を営むために必要な交通手段を試行する

令和5年度第4回会議にて承認を受け中部運輸支局に申請したもの(参考資料)

中 運 交 企 第 1 9 1 号
令 和 6 年 3 月 21 日

愛知県公共交通協議会
会長 坂田 一 亮 殿

中 部 運 輸 局 長
(公 印 省 略)

令和4・5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	愛知県公共交通協議会
評価対象事業	地域間幹線系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・新型コロナウイルスの影響により減収となっている地域間幹線系統について、県独自の補助要件の緩和を実施し、地域間幹線系統の確保維持に向けた支援を行ったことを評価します。
- ・路線廃止の申し出のあった路線について、対応方策等を協議したことを確認しました。
- ・地域間幹線系統の確保・維持に向け、令和5年1月20日に「愛知県バス対策協議会」を改組し、「愛知県公共交通会議」を設置、愛知県地域公共交通計画の策定に向け取り組んでいることを確認しました。
- ・「あいち交通ビジョン」モデル事業やMaaSの社会実装に向けた実証実験等、公共交通の利用促進につながる取り組みを、関係者と連携して実施したことを評価します。

期待する取組

- ・策定予定の愛知県地域公共交通計画に基づき、沿線自治体・関係事業者等と連携し、引き続き、地域間の公共交通ネットワークの確保維持に努められると共に、「まもる」から次の「たかめる」等についても取組が進むことを期待します。
- ・地域間幹線系統の利用促進について、県が関与した取組や各市町村の取組で成果が見えた取組に関しては、その成果の「見える化」についても検討や取り組まれることを期待します。
- ・地域間幹線系統の必要性やあり方、維持方策など県の考え等については、各市町村の協議会にて共有し、話し合い、その内容に応じて計画に反映される仕組みが計画に位置付けられることを期待します。
- ・地域間幹線系統の確保維持にあっては、運転者不足や運転者に係る働き方改革の動向も踏まえながらフォローアップされることを期待します。
- ・令和7年春の新半田病院の開院に向け、公共交通網の再編については鉄道・航路も含めた検討が進むことを期待します。

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況							⑥複数市町村を跨ぐ系統/ 幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 （特記事項を含む）		
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間				【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず		輸送量(人)			収支率(%)					
								R 5 計画	R 5 実績	平均乗車密度	運行回数	R 4 実績	R 5 実績					
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	42	横須賀（A）	大府駅前～尾張横須賀駅	・沿線自治体と連絡し、広報等に路線時刻表を掲載 ・東海市循環バス路線図に路線バスの路線を明示 ・時刻表と路線バス時刻表を併せて配布	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	B 2	目標78592 実績58534 達成率74.5% 2022年10月10日付のダイヤ改正の減便により、年間利用者数が減少した。	49.6	34.7	3.7	9.4	47.0	50.0	市境をまたぐ利用がおおよそ5割弱にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。前年度と比べると、月の利用者数が1,000人程度減少しているものの、東海市と大府市を繋ぐ重要な基幹路線であり、高等学校近くに停留所があることで通勤・通学利用者も多い。所轄の警察署まで行く手段でもある。	・利用しやすいダイヤ設定とその周知 ・東海市循環バスダイヤ改正（令和6年度）に向けて、路線バスとの相互利用が可能なダイヤを検討 ・大府市横須賀(A)線のPR活動を継続 ・路線バスにおける利用者増加策を三者で模索
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多市	知多乗合(株)	43	あいあいバス（北部循環コース）	朝倉駅～朝倉駅（循環）	・バスロケーションシステムについて、バスマップにアクセス用QRコードを掲載 ・バスロケーションシステムの周知 ・高齢者を対象としたバスロケーションシステム講習会を継続	A	計画どおり運行した。	A	目標52000 実績61659 達成率118.6% 令和2年の路線再編により、路線の利便性が向上し、利用者の増加につながったため。	20.5	25.4	2.6	9.8	6.4	6.3	東海市にある公立西知多総合病院と、阿久比町にあるカネスエ阿久比店の利用が多い。本市東部地区の住民は、隣接する東海市や阿久比町に生活圏があることから、通院、買い物など日常生活の移動手段として利用されている。東海市乗り継げるバス停が増えたことで、相互利用による住民の往来が増えている。阿久比町の循環バスとの乗継に利用されている。	・バスロケーションシステムの積極的なPR ・システムを活用した利用実態の把握 ・バスの乗り方教室の開催等、バスの利用方法の啓発 ・東海市循環バスダイヤ改正（令和6年度予定）に向けて、あいあいバスとの相互利用が可能なダイヤを引き続き検討 ・阿久比町・町役場において時刻表を配架

令和5年12月に愛知県が中部運輸支局に提出したものの抜粋（参考資料）

1. 補助システムの概要(Δ)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
横須賀(A)	知多乗合(株)	知多乗合(株)	大府駅前・尾張横須賀駅	8.2km	9.4 回	東海市 大府市 0 0
細系統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(Δ□)	模式図(Δ□)
<接続する系統> 東海旅客鉄道東海道本線・武豊線 名古屋鉄道常滑線 名古屋鉄道河和線 <接続される系統> 知多乗合大府線 東海市循環バス 大府市循環バス	

2. R5年度の運行状況

事業実施の適切性		《参考数値》 主要指標の推移(Δ)						
計画どおり運行されたか(Δ)		評価の基準＜事業実施の適切性＞ A: 事業計画とおりの運行回数が確保されている場合 B: 年間標準運行乗客数の表に示す乗客数により、運休（一部区間の運休を含む）が生じた場合						
評価	計画どおりか。そうでない場合は理由	年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度						
A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	年間利用者数【人】		87,009	88,839	78,592	76,105	56,490
		平均乗車密度(実績)		3.9	4.0	3.6	3.5	3.5
		輸送量	(計画)	37.2	49.6	52.0	49.6	49.6
			(実績)	48.3	50.0	44.6	43.7	32.9
		収支率(実績)		79.0%	60.7%	54.1%	47.0%	60.0%
		評価の基準＜目標・効果達成状況＞ A: 年間目標利用者数を達成できた場合 B1: 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の75%以上の利用があった場合 B2: 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の50%以上の利用があった場合 C: 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合						

目標・効果達成状況					
評価	目標の達成状況(△)		運営主体の所見、理由分析、認識(△)		
B2	目標	78,592	横須賀線は、大府駅と尾張横須賀駅を結ぶ基幹路線である。2022年10月1日付けダイヤ改正で減便したことにより、年間利用者数が減少したと考えられる。収支率が好転したが、今後も、需要に応じたダイヤの見直しなど、輸送の効率化を図る必要がある。		
	実績	56,490			
	達成率	71.9%			
	要因	昨年度(平日)上下27回 (休日)上下21回		市町村の所見、理由分析、認識(□)	
		今年度(平日)上下22回 (休日)上下13回			
運行事業者の所見等(△)			市町村名:	東海市	
			前年度に比べ、減便による影響を受け、前年度に比べて大幅に減少している。		
			横須賀線は、本市においても重要な基幹路線であるため、今後もより一層、利用促進を図る必要がある。		
			市町村名:		0
			市町村名:	大府市	
			前年度に比べ、年間利用者数等主要指標が大幅に減少している。		
			地域間幹線系統路線としての重要な公共交通サービスを維持していくため、利用促進策等の継続した取組が必要である。		
			市町村名:	0	

複数市町村を跨ぐ系統としての役割			
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(Δ)	住民の利用状況(□)	
市町村を跨ぐ利用者数(Δ)	3,147 人/月	市町村名: 東海市	市町村名: 大府市
全利用者に占める率(Δ)	49.5% %	市町村名: 0	市町村名: 0
特記事項	2023年7月18日及び7月19日実施のOD調査結果をもとに算出	前年度と比べると、月の利用者数が1,000人程度減少しているものの、東海市と大府市を繋ぐ重要な基幹路線であり、通勤・通学利用も多い。	

《参考数値・情報》 その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体《断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等》(Δ)	沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)
大府駅前: およそ130人/日 尾張横須賀駅: およそ40人/日 市町境の断面輸送量は上記のとおり	JR大府駅乗車人員(R3年度、知多半島の統計 令和4年版): 12,004人/日 名古屋鉄道尾張横須賀駅利用者数(R4年度): 1,626,007人※ 名古屋鉄道高橋須賀駅利用者数 (R4年度): 1,042,693人※ 東海市循環バス中ルート輸送人員(R5年度): 106,750人 東海市循環バス南ルート輸送人員(R5年度): 94,533人 大府市循環バス東コース輸送人員(R5年度): 36,819人 大府市循環バス西コース輸送人員(R5年度): 25,889人 大府市循環バス南コース輸送人員(R5年度): 40,986人 大府市循環バス中央コース輸送人員(R5年度): 53,069人 ※名古屋鉄道駅利用者数は会計年度(4月〜3月)

3. R5年度の取組状況

直近の事業評価結果(Δ)		運営主体の取組(Δ)	市町村の取組(□)			
A	事業評価を踏まえた取組	沿線自治体と連絡し、広報等に路線時刻表を掲載する等の取組みを展開した。	市町村名： 東海市	市町村名： 大府市	市町村名： 0	市町村名： 0
改善点とした事項(Δ)			東海市循環バス路線図に路線バスの路線を明示し、時刻表を配布する際に、路線バスの時刻表を併せて配布している。	相互利用促進のため、大府市循環バスの路線図・時刻表に横須賀(A)線への乗継箇所を明示し、公共施設窓口及び市内主要施設へ配置した。		
ホームページ、広報誌を活用したPR、時刻表の掲載等	その他の取組	沿線施設等に当該路線の周知等を行い、バスの利用促進に努めた。	特になし	特になし		
関係者の連携等(Δ□)						

4. 今後の課題

課題と認識している事項					
運営主体(Δ)	沿線市町村(□)				
今後、需要に応じたダイヤの見直しなど、輸送の効率化を図る必要がある。	市町村名： 東海市	市町村名： 大府市	市町村名： 0	市町村名： 0	
	東海市・大府市・知多乗合株式会社の三社が連携し、より一層の利用促進に向けた取組が必要である。	大府市循環バス・東海市循環バス・知多乗合株式会社路線バス等の相互利用促進に向けた取組が必要である。			
運行事業者(Δ)					

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組					
取組時期	運営主体の取組(Δ)	市町村の取組(□)			
R6年度、R7年度に行う取組	利用しやすいダイヤ設定とその周知を継続して行う。	市町村名： 東海市	市町村名： 大府市	市町村名： 0	市町村名： 0
		東海市循環バスダイヤ改正(令和6年度)に向けて、路線バスとの相互利用が可能なダイヤを引き続き検討する。	横須賀(A)線のPR活動を継続するとともに、路線バスにおける利用者増加策を三者で模索する。		

注：評価にB、Cがある系統(市町村にあっては、目標の達成状況に関する評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

	沿線市町村(□)			
目標	市町村名： 東海市	市町村名： 大府市	市町村名： 0	市町村名： 0
	平成26年度の利用者の水準を維持(市内路線バス利用者数:367,000人/年) (横須賀(A)線利用者数:53,996人/年)	会計R6年度目標値 知多バス横須賀線利用者数:250人		
自己評価	目標としている利用者数を上回っているものの、利用促進に向けた取り組みを継続する必要がある。	会計R4年度実績 知多バス横須賀線利用者数:235人/日 新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回っているが、今後の回復により達成の可能性はある。		

7. 補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(□)			
市町村名： 東海市	市町村名： 大府市	市町村名： 0	市町村名： 0
(R5年度) 東海市循環バス中ルート輸送人員:106,750人 東海市循環バス南ルート輸送人員:94,533人	(R5年度) 大府市循環バス東コース輸送人員(R5年度):36,819人 大府市循環バス西コース輸送人員(R5年度):25,889人 大府市循環バス南コース輸送人員(R5年度):40,986人 大府市循環バス中央コース輸送人員(R5年度):53,069人		

通信欄
(この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)
※マクロを用いて集計しますので、セルの結合は絶対に変えないでください

令和5年度補助系統別事業評価票(あいあいバス(北部循環コース) 線)

43

1. 補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
あいあいバス(北部循環コース)	知多市	知多乗合(株)	朝倉駅から朝倉駅(循環)	27.9 km	9.8 回	東海市 阿久比町
細 系 統				km	回	
				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(△□)	模式図(△□)
<接続する系統> 名古屋鉄道常滑線・河和線 <接続される系統> 知多市コミュニティバス南部コース、東海市コミュニティバス中・南ルート、阿久比町循環バスオレンジライン、知多バス朝倉団地線、岡田線、佐布里線	

2. R5年度の運行状況

事業実施の適切性			《参考数値》 主要指標の推移(Δ)					
計画どおり運行されたか(Δ)			評価の基準<事業実施の適切性> A: 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合 B: 車両故障等運行事業者の責にすべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合					
評価	計画どおりか。そうでない場合は理由		年度					
A	計画どおり運行した。		年間利用者数【人】	—	21,703	51,064	56,472	61,659
			平均乗車密度(実績)	—	2.0	2.1	2.4	2.6
			輸送量	〔計画〕	—	29.4	19.6	20.5
				〔実績〕	—	20.0	20.5	23.5
			収支率(実績)	—	5.2%	5.8%	6.4%	6.3%
評価の基準<目標・効果達成状況> A: 年間目標利用者数を達成できた場合 B1: 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の75%以上の利用があった場合 B2: 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の50%以上の利用があった場合 C: 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合								

目標・効果達成状況			運営主体の所見、理由分析、認識(△)	
評価	目標の達成状況(△)		市町村の所見、理由分析、認識(□)	
A	目標	52,000	(知多市)利用者数は、新型コロナウイルス感染症の収束により、日常生活の移動需要の回復が見られ、昨年度に続き、今年度も目標を達成した。また、令和2年の路線再編以降、利用者数が順調に増加していることから、近隣市町の駅や商業施設への乗り入れなど、地域住民の生活に即した路線の見直しが利用者の増加につながったと考えられる。その他の利用実態としては、通院、名鉄電車との接続利用、自動車を所持していない高齢者や女性等の買い物利用等が多く、雨の日は高校生がバスを利用して通学している。	
	実績	61,659		
	達成率	118.6%		
	要因	令和2年の路線再編により、路線の利便性が向上し、利用者の増加につながったため。	市町村名: 東海市	
運行事業者の所見等(△)			市町村名: 阿久比町	
(知多乗合)年間利用者数は、昨年度に続き堅調に増加した。通院と買い物などを目的とする旅客が多く、今後も、市民の交通手段として、更なる利用者数の増加を期待したい。			年間利用者を始めほとんどの指標において、前年と比べて増加している。西知多総合病院バス停のほか、南加木屋駅西、中平地バス停においても、両市のバスの相互利用が高まったと考えている。	
			市町村名:	

複数市町村を跨ぐ系統としての役割				
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(△)	住民の利用状況(□)		
市町村を跨ぐ利用者数(△)	1,189 人/月	市町村名: 東海市	市町村名: 阿久比町	市町村名:
全利用者に占める率(△)	23.1 %	市町村名: 阿久比町	市町村名:	市町村名:
特記事項	市町村を跨ぐ利用者数は推定値	市町村名: 阿久比町	市町村名:	市町村名:

《参考数値・情報》 その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)	沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)
西知多総合病院バス停 約2,200人/年、南加木屋駅西バス停 約1,400人/年、中平地バス停 約900人/年、カネスエ阿久比店バス停 約2,800人/年	【東海市】 名古屋鉄道南加木屋駅利用者数(R4年度):2,707,867人※ 東海市循環バス中ルート輸送人員(R5年度):106,750人 東海市循環バス南ルート輸送人員(R5年度):94,533人 ※名古屋鉄道駅利用者数は会計年度(4月~3月) 【阿久比町】 カネスエバス停乗降客数:約800人/年

3. R5年度の取組状況

直近の事業評価結果(△)		運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)			
A	事業評価を踏まえた取組	(知多市)バスロケーションシステムについては、利用者がシステムを手軽に使い始められるよう、利用者用のバスマップにアクセス用のQRコードを掲載している。	市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：	市町村名：
改善点とした事項(△) バスロケーションシステムの積極的なPR。		乗降客カウントシステムのデータを活用した利用実態の把握に努めている。	・バスロケーションシステムの周知 ・高齢者を対象としたバスロケーションシステム講習会を引き続き実施	バスロケーションシステムの導入については未定		
関係者の連携等(△□)	その他の取組		・ホームページでの乗継案内 ・市役所において時刻表を配架 ・西知多総合病院内においてバスロケーションシステムの表示ディスプレイを運用	町役場において時刻表を配架		
年1回、関係各市町と情報交換を行っている。						

4. 今後の課題

課題と認識している事項						
運営主体(△)		沿線市町村(□)				
(知多市)バス利用者数は回復傾向にあり、利用者数の目標値は達成できたが、収入面での回復は思うように進んでいない。学生や会社員の利用促進を図る必要がある。		市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：	市町村名：	
		双方のコミュニティバスの乗継が可能であることを周知し、利用者数の増加を図る必要がある。	双方のコミュニティバスの乗継が可能であることを周知し、利用者数の増加を図る必要がある。			
運行事業者(△)						
(知多乗合) 知多市コミュニティ交通に結節する他路線も含めて、地域全体で公共交通を活性化させる必要がある。						

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組						
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)				
R6年度、R7年度に行う取組	(知多市) ・バスロケーションシステムの積極的なPRと、システムを活用した利用実態の把握 ・バスの乗り方教室の開催等、バスの利用方法の啓発	市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：	市町村名：	
		東海市循環バスダイヤ改正(令和6年度予定)に向けて、あいあいバスとの相互の利用が可能なダイヤを引き続き検討する。	・町役場において時刻表を配架			

注：評価にB、Cがある系統(市町村にあつては、目標の達成状況に関しての評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

	沿線市町村(□)			
	市町村名： 知多市	市町村名： 東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：
目標	未策定	策定中	未策定	
自己評価				

7. 補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(□)			
市町村名：	東海市	市町村名： 阿久比町	市町村名：
(R5年度) 東海市循環バス中ルート輸送人員：106,750人 東海市循環バス南ルート輸送人員：94,533人		カネスエバス停で阿久比町循環バスに接続している。乗降客数は年間約800人。ただし、阿久比町循環バスの運行本数が少なく、補助系統との接続もあり良くないため、乗り換えの需要は、西知多総合病院利用者以外はあまりないものと思われる。	

通信欄	(この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)
※マクロを用いて集計しますので、セルの結合は絶対に変えないでください	